

信濃 黒姫山

2010年2月20日(土)～21日(日)

志満(L)、田中、安藤(記録)

黒姫での山スキーは参加人数が減ってしまう。黒姫山は、先週三田原山から見たとき、樹林が濃く、あまり滑りが楽しめないように見えた。

2月19日(金) 8:30 本厚木を出発。志満宅、田中宅に寄り、関越、上信越自動車道を使い、先週と同じ信濃町道の駅に向かう。

2月20日(土) 晴れ

2:00 道の駅に到着。テントを張ろうとするが、テント本体とポールがない？ 直前の計画変更で、確認が足りなかった！ キャンピング仕様車だったので、後部にベッドを作る。混んだ山小屋よりはよい。1杯やって就寝する。

8:00 とりあえず予定の山行を実施することになる。道の駅を出発し、15分程で黒姫高原スキー場に着く。田中さんは、スキー場でテレマークスキーの練習、志満さんと私は、2010mピークから西に延びる尾根コースを滑る予定。
9:30 スキー場トップから現在使用されなくなった急斜面のゲレンデをシール登行する。ゲレンデのトップからは、登りやすい斜度となり、樹木間も開けて、歩きも楽しい。

12:00 2010m ピークに着く。時々雲が出るが妙高山や野尻湖を眺めることができる。



12:30 休憩後、尾根沿いを滑り始めるが、樹林が多い急斜面で、かつ20cmの新雪の下は斜面が荒れている。スキーが引っかかり転びまわって、降りていく。沢沿いならばと思ったが、なお、ひどかった。

1700m 付近で斜度が落ちたので、再び尾根に向かう。これが良かった。樹林間が広く、斜度20度の新雪の斜面が続いている。先ほどまでのことがうそのようで、楽しく滑ることができ、嬉しくて笑ってしまう。

滑りやすいところを選んで下ってしまったので、コースより北側の小さな尾根を降りてしまう。第2ペアリフトを左上に見て、沢沿いの斜面を下り、前山第1リフトのトップに出る。

リフト下を滑って、センターハウスへ向おうとしたが、連絡路の分岐を見逃した。そのままゲレンデを下り、スキーを担ぎ、車道を歩いて、15:00 無事にセンターハウスに戻る。すでに休んでいた田中さんと合流する。

志満さんの手筈により、今夜は急遽志満さんの知り合いで黒姫在住のお宅にご厄介になる。お風呂、食事、暖かい寝床が用意され、お酒も入り、皆で楽しい夜を過ごす。

2月21日(日) 晴れ

8:00 楽しく過ごした黒姫の秘密基地？を出発し、20分程で黒姫高原スキー場に着く。昨夜降った雪が樹氷を作り、山はきれいな雪化粧が施されている。

今日は3人で山頂直前のコルから西へ下る登山道コースを滑る予定だ。

9:30 スキー場トップから登る。昨日より山スキーヤーは多いが、昨日見たグループや単独者もいる。志満さんと私は、昨日も登っているので楽だったが、田中さんは1年ぶりのスキー登行のためか、残り3分の1の地点から疲れが見え始める。

12:30 稜線に着く。休憩後、山頂へ向かうが、雲が出て景色が望めないことと時間がないこともあり、予定の下山口のコルでシールを外して、滑る準備をする。



13:00 昨日と同じくらいの斜面だが、20cmの新雪の下は荒れていなく、滑りやすい。志満さんと私は楽しく滑ったが、田中さんは新雪でのターンで転倒し、滑るのに苦労している。

今日は滑りやすそうな斜面を見つけては、写真撮影をしながら降りていく。



標高1400m付近で、少しの間、樹林が濃くなる。ここで、田中さんは滑るのをあきらめて、スキーを担いで下る。登りで体力を使ってしまったようだ。

雪の状態は、滑り始めとかわらず軽い。楽しい滑りが標高980mの林道に着くまで続く。

林道から田中さんもスキーを着け、前山第1リフトのトップを横切り、16:00 無事にセンターハウスに着く。

16:20 スキー場を出発し、先週と同じ妙高の日帰り温泉「妙高の森」で汗を流す。上信越道、長野道、中央道を経由して、帰ることにする。
11:00 松本 塩尻間は先週に続き、渋滞したが、相模原の田中宅に着く。その後、志満宅に寄り、12:00 本厚木に戻る。

今回の黒姫山スキートレは、終わってみれば、素晴らしい山スキーを愉しむことができました。黒姫山は、歩きも滑りも楽しめる場所でした。志満さん、田中さん、ありがとうございました。